



## 「秤(はかり)は、自分の中にある」

「秤は、自分の中にある」・・・これは、かつて、日本のプロ野球やメジャーリーグで活躍した、元プロ野球選手のイチローさんが、自身の引退会見で、それまでの生き様について語った中の言葉です。昨年の卒業式では、式辞の中で紹介しました。

人より努力しているかどうかということではない。あくまで秤は自分の中にある。それで自分なりにその秤を使いながら、自分の限界を見ながら、ちょっと超えるということを繰り返していく。そうすると、いつの間にか「こんな自分になっているんだ」という状態になっている。だから、少しずつの積み重ねでしか自分を超えていけないと思う。一気に高みに行こうとすると、今の自分とのギャップがありすぎて続けられないから、地道に進むしかない。自分がやると決めたことを信じてやっていく。それは正解とは限らない。間違ったことを続けてしまっているということもあるかもしれない。それでも、そうやって遠回りすることでしか、ホントの自分に出会えない気がする。

3年生は、もうすぐ私立高校の受験先を決定します。公立高校や高専を受験する人は、そのことについても、考えていかなければならない時期です。そんなときだからこそ、「今の自分でいいのか?」と、自分自身を見つめて考えてください。

学習面はどうか?明日で、2学期末テストは終わります。ここまで、精いっぱい努力ができましたか?冬休みの終わりには、第5回の学習の診断があります。明日からは、それに向けての勉強もしなければなりません。そのための、心の準備はできていますか?

生活面はどうでしょう?先日、ある高校の先生が用事があって来校された時、生徒の様子を見学させてほしいと申し出られたのでご案内しました。他の中学校へも同じようをお願いしているそうです。今後も、いくつかの学校が来られる予定です。皆さんは、いつ、どこで高校の先生に会っても恥ずかしくないような態度で生活できていますか?

家族の一員としてはどうでしょう?受験生だからといって、特別扱いを望んだりしていないですか?家の手伝いなど、家族の一員としての役割を果たしていますか?

これらのことは、他人がどうかということではありません。あくまでも、自分自身がどうなのかという問題です。言い換えると、他の誰かが責任をとってくれるということではありません。例えば、友だちに誘われたから、勉強を後回しにして遊ぶ・・・その結果、自分にツケが回ってきたとしても、それは自分がまた種です。その友だちが何かしてくれるわけではありません。自分自身に責任があるということです。だからこそ、「今の自分でいいのか?」と、自分自身に問いかけ、見つめ直してください。もし、改めなければならないことがあるとしたら、今すぐ、改めてください。少しずつでもいいですから、自分の中にある秤を使って、成長していきましょう。一人一人が希望する進路が実現できるように、応援しています。

1、2年生の皆さんも同じです。勉強や生活、部活動や校外での活動に、一生懸命取り組んでいますか?そのことは、自分自身が一番知っていますね。自分を成長させるのは、自分自身です。地道に取り組んでください。



### ご紹介

遅くなりましたが、11月10日よりスクールサポートチームの皆さんが、本校の生徒の見守りのために来てくださっています。■■■さん、■■■さん、■■■さんの3人の方です。よろしくお願いします。